

..... 浅野川洪水 「放水路は機能したのか？」現地説明会

県が設置した第三者委員会は知事に最終報告書を提出し、「浅野川放水路は機能し150 m³/s以上犀川に分水した」としています。しかし、長年管理が放置され、堆積が進んでいた放水路は、計画通り流れるはずはありません。放水路が機能していれば、並木町や主計町、昌永町の浸水被害が起きなかった可能性もありました。洪水前の写真をもとに、現地の堆積の様子を直接確かめたいと思います。こぞって参加ください。



日 時：3月1日(日) 午前 11:00。

現地集合：大桑野球場駐車場（片町 幸町 笠舞 涌波 右側に大桑野球場への看板あり）

資料代：300円

案内者：渡辺寛(ナギの会代表)他。

終了後、どこかで意見交換を予定。

主 催：ナギの会、犀川の河川管理を考える会

問合せ：090-9445-1302(渡辺携帯)

【視察内容】放水路の中流～下流(大桑町)を視察します。トンネル内部にも少し入ります。田上町の分水施設を視察します。

【服装】放水路に入る場合は長靴が必要です。

【注】当日は、天気予報では晴れマークになっていますが、危険がゼロとは言えませんので、放水路内部へは慎重にも慎重を期したいと思います。

【参考】この放水路は、河川法第3条「河川及び河川管理施設」によって「導水路」という河川になっています(S62.3.31 告示、同日施行。S50.1.12 導水路として施行)。「大野川水系浅野川放水路」と呼称されています。(上流入口の分流施設は河川管理施設です。)

よって、普通の河川と同様、入るために許可などは必要なく自己責任ということ。

しかし「急激な水位上昇」が発生したら、逃げ場がありませんから、天候や上流の降雨の情報には十分に気をつけたいと思います。雨天により予定変更になることもあります。

なお、この放水路を管理している県のダム管理室(県庁6階)は、来週にも放水路内部の堆積土砂を取り除くため業者の選定も終わっているとのこと。たぶん来週には作業が行われると思われます。

この浅野川放水路問題が2月19日、北陸朝日放送で放送されました。内容を「浅野川洪水水害被災者の会」が紹介しています。 <http://blog.asanogawa.com/?eid=1184581>